



ブルネイ・ダルサラーム大学

Universiti Brunei Darussalam



●学部学生 約3,000人 ●大学院生 約770人 ●教員 約470人 ●留学生 約370人

ホームページ <http://www.ubd.edu.bn/>

交流協定締結年月日：2009年11月8日 主管学部：医学部



国際交流の特色

ブルネイ・ダルサラーム大学（UBD）は、1985年に設立された総合大学である。学位取得コースは、国民及び外国人に開かれていて、政府による奨学金制度（教科書や交通機関及び宿泊費）が、ブルネイ国民に授与されている。1989年に最初の卒業生を送り出し、現在のツング・リンクのキャンパスは、1995年9月に正式にオープンした。医学部では英語での、Problem Based Learning（PBL）を主体としたチュートリアル中心の基礎教育を3年間行い、その後3-4年は英国、カナダ、オーストラリアの各大学医学部に編入し、臨床教育を受けて医師免許を取得する。2009年には大学間協定が結ばれ、さらに医学部とブルネイ国保健省との国際協力協定が結ばれた。特に医学部では、本学医学部との双方向性の学生交流が積極的に行われ、実績が積まれている。

交流実績（令和2年度～令和4年度）

| 年度 | R2 | R3 | R4 |
|------------------|----|----|----|
| 受入・派遣 | | | |
| 学生の受入 | 0 | 0 | 6 |
| 学生の派遣 | 0 | 0 | 4 |
| 研究者・職員の受入 | 0 | 0 | 0 |
| 研究者・職員の派遣 | 0 | 0 | 0 |
| オンライン交流参加者（本学） | 16 | 25 | 26 |
| オンライン交流参加者（相手機関） | 18 | 13 | 62 |



教員からの声

ブルネイ国はアジアでも最も英語能力が優れ、治安が良く、政治的、経済的にも安定したイスラム教王国です。UBD医学部では英国式医学教育としてProblem-Based Learningを実施しており、国際的な視野を持った医師の教育で顕著な効果を挙げています。2006年から医学部間で協定を結び、さらに全学協定に発展しました。UBDにおける夏季医学教育コース（5-6週間）や課題実習（4-5週間）、香川大学における冬季医学セミナー（3週間）やディスカバリーイヤープログラム（14週間）、さぬきプログラム等を介した相互派遣等、さらに交流を深め、将来アジアで活躍するリーダーの育成にも取り組んでいます。コロナ禍で人的な相互交流は一時停滞せざるを得なくなりました。しかし、遠隔での交流が継続する一方、令和4年度からは中期の研究インターンシップによる相互交流が開始されています。さらに2023年10月にUBDの学長先生を香川大学にお迎えする等、人的交流もさらに深化しつつあります。

令和4年度医学部国際交流委員会委員長・教授 和田健司

学生からの声

私は2023年2月から3月にかけての5週間、医学科研究の講座でブルネイダルサラーム国のブルネイダルサラーム大学（UBD）へ留学させていただきました。コロナ禍以降、国際交流は行われておらず、留学できる状態になるかわかりませんでした。幸いにも無事に留学を終えることができました。UBDでは、大学院生が行っている、癌細胞に影響を与える可能性のある特定の遺伝子について、遺伝子導入や最適化等の方法で細胞を成長させ、WESを用いて遺伝子情報を解析するという研究に参加させていただきました。また、研究発表会やPBLに参加し、英語でのPresentationもさせていただきました。留学を通して、ブルネイの人々の生活や宗教、食文化等、日本にはわからない様々なことを知ることができました。沢山の学びがあり、学業の面だけではなく精神的にも大きく成長することができ、私の人生においてとても大切な経験となりました。

医学科4年 蓮池優菜